

TeraStation 導入マニュアル - はじめにお読みください -

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

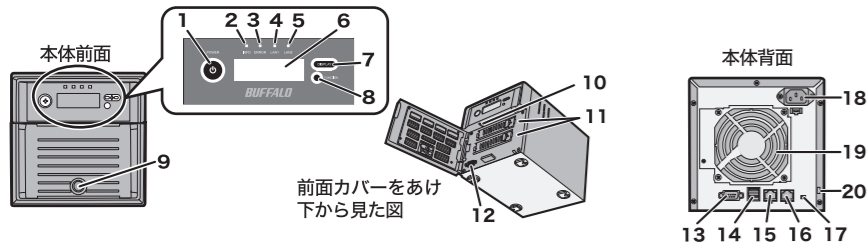
梱包物の確認

不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。確認した項目には✓を付けてください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

- TeraStation本体..... 1台
- LANケーブル..... 1本
- ACケーブル..... 1本
- 3極-2極変換アダプター..... 1個
- 前面カバー-開閉用鍵..... 2個
- ケーブル抜け防止バンド..... 1個
- LANケーブル..... 1本
- ユーティリティ-CD..... 1枚
- TeraStation導入マニュアル(本紙)..... 1枚
- ハードディスク交換手順..... 1枚
- 保証書..... 1枚

※付属のACケーブルは3極です。ACコンセントが2極の場合にお使いください。3極-2極変換アダプターのアース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、外すときは電源プラグを抜いてから外してください。また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう確実にアース口に接続してください。
 ※前面カバー-開閉用鍵は紛失しないよう大切に保管してください。
 ※保証書は本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。保証書には、シリアルNoが記載されています。
 ※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名称



- 1 電源スイッチ**
電源ON：電源スイッチを押します。
電源OFF：電源スイッチを3秒間(ビーツ音がなるまで)押し続けます。
電源ONのとき、電源スイッチは緑色に点灯します。
- 2 INFOランプ**
現在の状態について伝えることがあるとき、緑色に点灯します。現在の状態については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。
- 3 ERRORランプ**
エラーが発生したとき赤色に点灯します。エラーの内容については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。
- 4 LAN1ランプ**
LAN1ポートがネットワークに接続されているときに、緑色に点灯します(LAN1ポート2線のランプも同様点灯します)。
- 5 LAN2ランプ**
LAN2ポートがネットワークに接続されているときに、緑色に点灯します(LAN1ポート2線のランプも同様点灯します)。
- 6 液晶ディスプレイ**
TeraStationの状態などを表示します。
- 7 ディスプレイ切替スイッチ**
液晶ディスプレイの表示を切り替えます。
警告音が鳴っているときに押すと警告音を止めることができます。
- 8 ファンクションスイッチ**
次の操作を行うときに使用します。
・ダイレクトコピー機能
・USB機器の取り外し処理
・ハードディスク交換時のRAID再構築
詳しくは画面で見るマニュアル「TeraStation設定ガイド」をご参照ください。
- 9 ハードディスク取替用キーリリッター**
付属の鍵で前面を開けることができます。ハードディスクを交換するとき、および初期化スイッチを押すときに使用します。
※前面のハードディスク取替用キーリリッター、鍵は操作禁止です。強制停止には、「強制停止用セキュリティスロット」をお使いください。
- 10 初期化スイッチ**
TeraStation動作時(電源ランプ点灯)に、ビーツ音がするまで(約5秒間)押し続けることで、IPアドレスとパスワードが出荷時設定に変更されます。初期化スイッチでパスワードが初期化しないようにも設定することもできます。
- 11 ステータスランプ1~2**
各ハードディスクにアクセス時は1~2の各ランプが緑色に点灯します。ハードディスクに異常が発生したときは、異常が発生した番のランプが赤色に点灯/点滅します。
- 12 本製品では使用しません。**
- 13 UPS専用ポート**
UPS(無停電電源装置)を接続できます。
- 14 USBコネクタ (USB2.0/1.1 シリーズA)**
当社製USB接続外付ハードディスクや、USBフラッシュ、デジタルカメラ、対応USBを接続できます。
※USBハブの接続には対応していません。
- 15 LANポート1**
付属のLANケーブルを接続します。
- 16 LANポート2**
2本のLANケーブルでネットワークに接続して冗長性を保たないときやバックアップなどにも使用します。またバックアップ用に別途TeraStationを用意すればTeraStationを接続することもできます。
- 17 PC連動電源機能スイッチ**
下記に記載の「PC連動電源機能について」をご参照ください。
- 18 電源コネクタ**
付属のACケーブルを接続します。
- 19 ファン**
ファンを塞ぐような設置はしないでください。
- 20 強制停止用セキュリティスロット**
市販のライターロックなどで固定することができます。
※ディスプレイ切替スイッチや液晶ディスプレイの表示については、画面で見るマニュアル「TeraStation設定ガイド」をご参照ください。

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

インターフェース(LANポート)	インターフェース：IEEE802.3ab準拠(100GBASE-T)、IEEE802.3準拠(10GBASE-T)、IEEE802.3準拠(10BASE-T) 伝送速度：1000Mbps全二重(自動認識)、100Mbps全二重/半二重(自動認識)、10Mbps全二重/半二重(自動認識) ポート数：2ポート (AUTO-MDIX対応) コネクタ形状：RJ-45E 8極 アクセス方式：CSMA/CD方式 対応プロトコル：TCP/IP 対応ネットワークファイルシステム：SMB/CIFS、AFP、FTP、FTPS、SFTP、NFS Jumbo Frameフレーム長：1518/4102/7422/9694 Bytes (ヘッダー14Bytes+FCS 4Bytes含む)
インターフェース(USBポート)	インターフェース：USB規格Revision2.0 データ転送速度：最大480Mbps(理論値) コネクタ：USBコネクタA(シリーズA)×2 当社製USB接続ハードディスク、USB接続UPS、USB接続プリンターなど ※対応USB機器の詳細については、当社ホームページ(buffalo.jp)にてご確認ください。
インターフェース(UPSポート)	インターフェース：UPS専用ポート(D-SUB 9ピン(オス))×1 対応OS：オムロン社製UPS、APC社製UPS ※対応UPS製品名は当社ホームページに記載しています。また、オムロン社ホームページの各製品ページにも記載があります。UPSを購入前あらかじめご確認ください。
内蔵ハードディスク	ディスクの構成：出荷時にRAID1モードに設定済み ※TeraStationのハードディスクが故障した場合は、別売の当社製交換用ハードディスクOP-HDシリーズ(故障したハードディスクと同容量)に交換ください。詳しくは当社ホームページ(buffalo.jp)をご参照ください。
電源 / 消費電力	AC100V 50/60Hz / 約40W(平均)
外形寸法 / 重量	W170×H170×D230mm (突起部を除く) / 約4.5kg
動作環境	温度5~35℃、湿度20~80%(結露なきこと)
対応機種	対応パソコン DOS/M(OADG仕様)対応パソコン、NEC PC98-NXシリーズ、Apple Macシリーズ ※LANインターフェースを搭載していること。 ※パソコンとはLAN接続になり、USB接続はできません。 対応OS Windows 81 / 7(+ / Vista(+ / XP(+ / 2000、Windows Media Center Edition 2005/2004、Windows 2000 Server / Server 2003(+ / Server 2008(+)、Mac OS X 10.3.9以降(+ / 64ビット/32ビットに対応しています。

ソフトウェアのご紹介

付属のユーティリティ-CD(TeraNavigator)では、次のソフトウェアやマニュアルをインストールすることが可能です。
セットアップ中に表示される選択画面でソフトウェアを選んでインストールします(TeraNavigatorの[オプション]をクリックし、画面の指示にしたがってインストールすることもできます)。

- [BUFFALO NAS Navigator2]**
TeraStationの設定画面の表示や、ネットワークからTeraStationを検索するためにNAS Navigator2が必要ですが、TeraNavigatorの[かんたんスタート]をクリックしてセットアップすると、必ずインストールされます。
※PC連動電源機能を使用するときは、TeraStationと同じネットワークに接続しているパソコン全てにNAS Navigator2をインストールする必要があります。
- [ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]**
TeraStationの設定画面で外部のSMBサーバーに認証を委任してアクセス制限を設定するときは、Windows 8/7/Vista、Windows Server 2003/Server 2008のセキュリティレベルを変更する必要があります。
[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]を起動し、「ファイル共有のセキュリティレベルを変更する」を選択すると変更することができます(元に戻すときは、「元に戻す」を選択します)。
※Windows 8/7/Vista、Windows Server 2003/Server 2008のみインストールされます。
※初期セットアップ中、「セキュリティレベルを変更します。よろしいですか?」と表示されます。[はい]をクリックしたときは、画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。
- [簡単バックアップ]**
パソコンのデータをTeraStationにバックアップしたいときに便利なユーティリティです。
使いかたについてはセットアップ後に、[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[簡単バックアップ]-[簡単バックアップ マニュアル]をご参照ください。
Windows 8をお使いの場合は、スタート画面の[簡単バックアップ]を右クリックし、表示されたメニューから[ファイルの場所を開く]を選択し、[簡単バックアップ マニュアル]をダブルクリックしてください。
※TeraStationのデータをバックアップしたいときは、TeraStationの設定画面で行います。
※Mac OSでは使用できません。
- [NAS設定保存・復元ツール]**
TeraStationの設定情報を、ネットワーク経由でパソコンに設定ファイル(nas_configファイル)として保存し、必要な場合に復元することができるソフトウェアです。
使いかたについてはセットアップ後に、[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[NAS設定保存・復元ツール]-[NAS設定保存・復元ツールマニュアル]をご参照ください。
Windows 8をお使いの場合は、スタート画面の[NAS設定保存・復元ツール]を右クリックし、表示されたメニューから[ファイルの場所を開く]を選択し、[マニュアル(PDF)]をダブルクリックしてください。
※Windows Server 2003/Server 2008、Windows 2000 Server、Mac OSでは使用できません。
※NAS設定保存・復元ツールでは、TeraStationの共有フォルダー内のデータは保存されません。
- [Adobe Reader]**
マニュアルには一部PDFファイルが含まれています。WindowsでPDFファイルを読むにはパソコンにAdobe Readerがインストールしてある必要があります。Adobe Readerがない環境をお使いの場合にインストールしてください。使いかたについてはAdobe Readerのヘルプを参照してください。
- [EXT3リーダー] (TS-XHLシリーズには付属していません。)**
TeraStationでEXT3フォーマットしたUSB接続ハードディスクを、Windowsで読み出したいときに使用します。使いかたについては、画面で見るマニュアル「TeraStation設定ガイド」をお読みください。
※64ビットのOS、およびMac OSでは使用できません。

※インストールしたソフトウェアを削除するには、TeraNavigatorの[オプション]-[ソフトウェアの削除]をクリックしてください。以降は画面のメッセージにしたがって操作します。

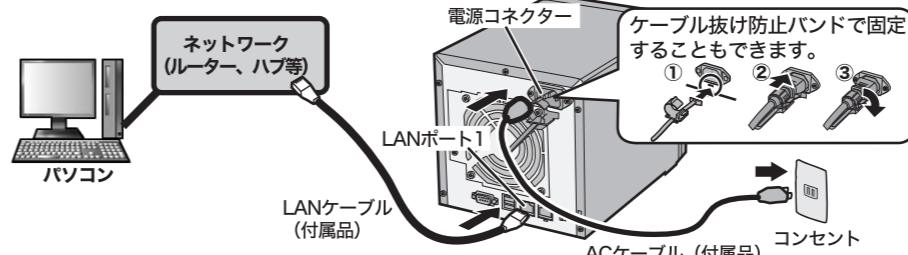
セットアップ手順

TeraStationを使用するには、まず付属のCDに収録されているTeraNavigatorにしたがって、TeraStationの接続・NAS Navigator2のインストールを行います。

- 1 付属のCDをパソコンにセットします。**
TeraNavigatorが起動します。
※Windows 8をお使いの場合、CD挿入時に画面右上に「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」と表示されたら、その部分をクリックし、次の画面で「TSNav.exeの実行」をクリックしてください。
Windows 7/ Vistaをお使いで、「自動再生」画面が表示された場合は、「TSNav.exeの実行」をクリックしてください。また、インストール中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。
※Mac OSでは、付属CD内の[TeraNavigator]をダブルクリックしてください。
※パソコンにCD・DVDドライブが搭載されていないときは、当社ホームページ(buffalo.jp)のダウンロードサービスより、本製品のTeraNavigatorをダウンロードし、実行してください。
※ウイルス対策ソフトウェアやOSのファイアウォール機能が有効に設定されている場合、本製品をセットアップする前に必ず無効にしてください。有効に設定されていると、本製品をセットアップできないことがあります。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。セットアップ後に、ファイアウォール機能の設定を元に戻してください。

- 2 [かんたんスタート]をクリックします。**
本紙では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。
※Windowsでこの画面が表示されないときは? ユーティリティ-CD内に収録されている アイコン(TSNav.exe)をダブルクリックしてください。

- 3 以降は、画面の指示にしたがってTeraStationの接続、およびNAS Navigator2のインストールを行ってください。**



※LANポート1、LANポート2の両方を使用したい場合でも、LANポート1を使って本紙に記載の手順でセットアップしてください。セットアップ後、LANポート2にLANケーブルを接続してください。LANポート2のIPアドレスはTeraStationの設定画面[ネットワーク]-[ネットワーク]-[IPアドレス設定]で設定してください。

- 4 以上でTeraStationの接続、NAS Navigator2のインストールは完了です。TeraNavigator右上のをクリックしてTeraNavigatorを閉じます。続いてインストールされたNAS Navigator2でTeraStationのIPアドレスを設定します。**

- 5 NAS Navigator2を起動します。**
※Windows では、デスクトップ画面の [BUFFALO NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。
※Mac OS では、Dock 内の [NAS Navigator2] アイコンをクリックします。

- 6 TeraStationのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]-[IPアドレス]をクリックします。**
画面はWindowsで実行した例です。
※Mac OSの場合は、コントロールキーを押しながらTeraStationのアイコンをクリックし、[機器設定画面を開く]-[IPアドレス]をクリックします。

- 7 ①IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。**
画面はWindowsで実行した例です。
※設定が分からない方は、「IPアドレスを自動的に取得する」をクリックしてチェックマークを表示させてください。
②[OK]をクリックします。
※管理者パスワードの入力を求められたときは、TeraStationのパスワード(出荷時設定では、passwordとなっています)を入力してください。

続いてTeraStationの設定画面でTeraStationの時計を設定します。

- 8 NAS Navigator2のメイン画面に表示されているTeraStationのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[Web設定を開く]をクリックします。**
※Mac OSの場合は、コントロールキーを押しながらTeraStationのアイコンをクリックし、[Web設定を開く]をクリックします。

設定画面の対応ブラウザは、Internet Explorer6.0 Service Pack 2以上、Firefox 1.5以上、Safari3以上です。対応ブラウザ以外からのアクセスでは、正しく表示されないことがあります。

- 9 表示された画面に、ユーザー名・パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。**
※出荷時設定では、次のようになっています。
ユーザー名：admin
パスワード：password

- 10 TeraStationの設定画面で[システム]-[基本]-[時刻設定]をクリックします。**

- 11 [設定変更]をクリックします。**

- 12 ①現在の日時を選択します。**
※[設定中のPCから時刻(またはタイムゾーン)を取得]をクリックすると、パソコンの時刻(またはタイムゾーン)をTeraStationに設定します。
②[保存]をクリックします。

初期設定ではNTPサーバーを使用して、自動的に時刻を修正するよう設定されており、NTP機能について ネットワーク環境によってはNTP機能が使用できない場合があります。デフォルトのNTPサーバー(ntp.jstnfeed.ad.jp)は、インターネットマルチフィード株式会社のもです。詳しくはhttp://www.jstnfeed.ad.jp/をご参照ください。本サービスのご利用につきましては利用者ご自身の責任において行って頂くよう、お願いいたします。本サービスの利用、停止、欠陥及びそれらが原因となり発生した損失や損害については一切責任を負いません。

※NTPサーバーを利用した時刻の自動取得に失敗した場合、TeraStationのDNSサーバーアドレスの設定を確認してください。NTPサーバーの指定をIPアドレスではなくホスト名で指定した場合、優先DNSサーバーアドレスの値を設定する必要があります。優先DNSサーバーアドレスの設定は、TeraStationの設定画面[ネットワーク]-[ネットワーク]-[IPアドレス]で変更できます。

- 13 時計の設定以外にも、TeraStationの設定画面で次の設定を行うことをおすすめします。**

管理者パスワードの変更
セキュリティのため、出荷時設定のパスワードから変更することをおすすめします。
1.TeraStationの設定画面で、[ユーザー]-[ユーザー]-[ユーザー]をクリックします。
2.[admin]を選択し、[ユーザーの編集]をクリックします。
3.①パスワード、確認用パスワードを入力します。
②[保存]をクリックします。
以上で管理者パスワードの設定は完了です。

RAIDメンテナンス機能の設定
出荷時設定では、TeraStationはRAID1に設定されています。RAID メンテナンス機能を設定すると、RAID1を構築しているアレイに対して、問題なく読み取りできるか、不良セクターがないかをチェックし、問題があったときには自動的に修復します。
1.TeraStationの設定画面で、[システム]-[ディスク]-[RAID メンテナンス]をクリックします。
2.RAID メンテナンス機能 [使用する] をクリックします。
3.RAID メンテナンスを実行するスケジュールを選択します。
※[今すぐ実行] を選択した状態で [保存] をクリックすると、すぐに RAID メンテナンス機能を実行されます。
4.[保存] をクリックします。
以上で RAID メンテナンス機能の設定は完了です。

- 14 TeraStationのアイコンをダブルクリックします。**
画面はWindowsで実行した例です。

- 15 TeraStation内の共有フォルダーが表示されます。**
※Mac OSでは、デスクトップ画面にTeraStationがドライブアイコンとしてマウントされるか、Finderのサイドバーに表示されます。
以上でセットアップは完了です。TeraStationの共有フォルダーは、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先として使用することができます。

※TeraStationは、最新のファームウェアで使用することをおすすめします。最新のファームウェアは、当社ホームページ(buffalo.jp)からダウンロードすることができます。お使いのTeraStationのファームウェアバージョンは、NAS Navigator2メイン画面に表示されています。

2台目以降のパソコンからTeraStationの共有フォルダーを開くには
2台目以降のパソコンにNAS Navigator2をインストールします(付属のCDのTeraNavigator トップ画面から[NAS Navigator2のインストール]をクリックすることでインストールできます)。上記手順14、15と同様の操作で共有フォルダーを開いてください。

RAIDの設定について
出荷時設定では、「TeraStationはRAID1モードに設定されています。設定を変更したいときは、TeraStationの設定画面より変更してください。設定手順については、画面で見るマニュアル「TeraStation設定ガイド」をご参照ください。TeraStationでは設定画面より次のモードを設定することができます。
RAID1モード (出荷時設定) 内蔵されている2台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。使用できる容量は、ハードディスク1台分の容量となります。2台のハードディスクをペアにして、それぞれのハードディスクに同じデータを書き込みます。ペーパー障害する一方のハードディスクが故障してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます(両方故障した場合はデータを復旧することはできません)。
RAID0モード 内蔵されている2台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。使用できる容量は、ハードディスク2台分の容量となります。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。ハードディスクが故障した場合、データを復旧することはできません。
通常モード 内蔵されている2台のハードディスクを2つドライブとして使用したいときに選択できます。
※RAIDモードを変更するとTeraStation内のハードディスクのデータは、全て削除されます。必要なデータが入っているときは、データをバックアップしてからRAIDモードを変更してください。

TeraStationの電源をOFFにするときは
・TeraStation前面の電源スイッチを「ピ」を鳴るまで3秒間押し続けます。
・TeraStationの設定画面で[システム]-[メンテナンス]-[シャットダウン]-[シャットダウン]をクリックします。
上記手順を守らずに、電源がONの状態のまま、ACケーブルを取り外すとTeraStationが故障する恐れがあります。

TeraStationのデータはバックアップすることをおすすめします
TeraStationを使用していると、突然の事故、ハードディスクの故障や誤操作で大切なデータを失ってしまう可能性があります。そのようなときに、データを元に戻したり、被害を最小限に抑えるために、データのバックアップをとっておくことが大切です。
バックアップ先には当社製大容量ハードディスク(TeraStation/LinkStation、およびUSB接続外付ハードディスク)をお使いください。
TeraStationのデータへのバックアップは、「TeraStationの設定画面から行うことができます。バックアップ手順については、画面で見るマニュアル「TeraStation設定ガイド」をご参照ください。

